

## 白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和4年11月～12月）

令和4年11月～12月の白石踊に関わる高校生・大学生等の活動について報告します。

### 1. 山陽新聞投稿文

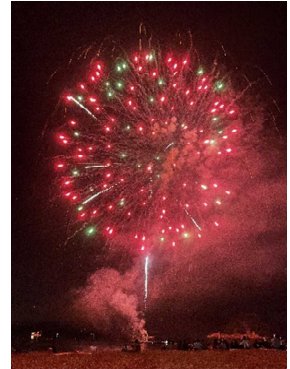
2022年10月1日（土）に白石島で花火大会が開催され、倉敷翠松高校の生徒たちで参加しました。そのときの様子を山陽新聞に投稿したところ、11月19日の朝刊に掲載されました。

今年度から学校の授業で白石島について学んでいます。7月に白石踊をメインとする観光ツアーに参加し、今回2回目の白石島に行きました。7月は、島独特の穏やかな空気と、素晴らしい景色を楽しませてもらいました。今回は福山の会社の企画で花火大会が開催されると聞き、白石島の違う顔が見られるのではと、先生、友人と再び訪れました。

今回の花火大会では、7月に見た白石島とは一変して華やかに彩られた白石島を見ることができました。思い出の一つとなるとともに、白石島への興味がより一層深まりました。頻繁に訪れることはできませんが、他にどんなことをしているのか、さらに白石島について調べていこうと思いました。さらに、見るだけでなく島の特産物などについても知り、買ってみたいと思いました。

知れば知るほどさまざまな魅力で楽しませてくれる白石島。その素晴らしさを家族、多くの友人や世間に伝え、共に楽しみながら、島の発展に関わっていきたいです。

（文章：磯山友姫）



今年度から倉敷翠松高校では白石踊の継承活動に取り組んでいます。その担当教諭は白石島にゆかりがありますが、久しぶりに白石踊に携わることになった胸中を投稿したところ、12月18日の山陽新聞朝刊に掲載されました。

幼い頃、盆には、祖父母の住む笠岡市の白石島で過ごした。白石育ちの父に連れられ、何度か島に伝わる盆踊り「白石踊」を見に行った。父は踊っていたが、私は大して興味を持たず、大人になってからは白石踊とは全く縁がなくなっていた。

しかし、不思議なもので、さまざまな縁が重なり、今年から笠岡からは離れた私の職場、倉敷翠松高校で私が担当となり、白石踊についての学習と継承活動をする事となった。30年以上ぶりに聴いた音頭はとても懐かしく、何度も口ずさんだ。踊りも白石踊会の方に指導を受け、生徒と共に練習した。

そんな年に運よく白石踊がユネスコの無形文化遺産に登録された。その記念セレモニーでは、白石踊に携わる多くの方や、その方々の思いに触れることで、子供の頃には私が未熟で感じる事ができなかった感動や、そこに关わる喜びを感じさせてもらった。

人から人へ継承されてきた、すてきで大切な文化に再び巡り合わせてくれたことに感謝しつつ、白石踊を大切にしていきたい。

（文章：天野洋祐）

## 2. 岡山の歴史文化研究フォーラム

2022年11月20日に山陽新聞社のさん太ホールで「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」に参加してきました。

歴史・文化フォーラムは岡山の歴史・文化を研究発表する場を高校生に提供しようと始まった大会だそうですが、今回、私たちは白石踊 800年の歴史について発表しました。白石踊の起源や踊りの種類などをパワーポイントのスライドで紹介し、さらには実際に踊ってみました。発表会までの間、放課後を使い「男踊り、傘踊り、女踊り、月見踊り」の4つの踊りを堂々と踊るために特訓しました。本番は少し緊張しましたが、いつも通りの発表ができました。白石踊を実演した際は観客の方から温かい拍手をいただきとても嬉しかったです。

このフォーラムでは岡山県内から8校が集まり、それぞれ地域の凄い人や戦争などの歴史を発表していました。結果は、私たちは優秀賞を受賞することができました。

今後も少しでも多くの人に白石踊の歴史と素晴らしさを知っていただくために活動したいと思います。

(文章：白石颯汰・磯山友姫)



## 3. ユネスコ無形文化遺産登録の記念式典参加

私達は先日12月4日(日)に白石島で行われたユネスコ無形文化遺産の登録を祝った式典に行きました。

この式典ではくす玉割りや笠岡市長をはじめとする多くの方の祝辞や白石踊会長などの喜びの言葉、白石踊の実演などを行い、終始お祝いムードで溢れていました。

式典には島内の方々のみならず式典のために帰省してきた方々、島外から来られた方でもとても賑わっていました。今回ユネスコ無形文化遺産に登録された事によって更に日本のみならず世界にも白石踊の良さなどが広がって行くと思うので、さらに知名度を上げていき後継者不足など様々な課題を解決していけたらいいと思います。(文章：小川達也・白石颯汰)



#### 4. 機関誌「高梁川」に掲載

岡山県北から瀬戸内海まで 111 km にわたり流れる高梁川。その流域の自治体（笠岡市も含む）などが加入する高梁川流域連盟（所在地：倉敷市役所生涯学習課）の機関誌「高梁川」は、昭和 29 年に創刊され今年第 80 号が発刊されました。（2022. 12. 15）

第 80 号の特集は「青春群像 令和の若者たち」

高梁川流域の若者が、どんなことに取り組んでいるのか、何を目標として進んでいるのか、などが本人の文章で綴られています。

白石踊に関連する記述のある文章として、

75 ページ 白石踊の継承活動 渡辺 陽

88 ページ 人や文化の架け橋に 中藤浩文

90 ページ 源平水島合戦 尾崎 光

108 ページ 若者群像 三宅範行 が掲載されています。



以上